

UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail: sodan@jrtu.or.jp
 東京本部 〒108-0075 東京都港区赤坂4-1-15
 JR東海品川ビル3階3F (03)6718-1251
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

春闘
妥結

定昇確保・ベア1,000円・夏季手当2.7箇月

組合員の努力が実り期末手当が
遂に安定支給ベースまで回復！

JR東海ユニオンは、3月17日に開催した団体交渉において、左記回答を会社から引き出した。

今次春季生活闘争において、会社からは、組合員の頑張りに対し深い感謝が示されたものの、コロナ禍前と比較し約73%までしか新幹線のご利用が回復していないことや、企業物価の高騰を運賃等に価格転嫁できないこと等を理由に、「引き続き厳しい経営状況が続いていることを勘案せざるを得ない」との主張が繰り返され、厳しい交渉が続けられた。

物価高騰への対処を求めたベースアップについては、経営が完全に回復しきつておらず、会社も動力費や材料費などの高騰に苦しむ中において、組合員の負担が軽減

される水準までには至らなかったが、コロナ禍直前の2020年春季生活闘争で得られたベア800円を超える結果となり、長く続いたコロナ禍をようやく脱し、大きく飛躍し始めるスタートを切ったことを意味づける回答となった。

夏季手当については、「安定支給ベース」への回復に強くこだわりの実現した。組合員の努力により、経営を安定支給ベースの支給水準まで回復させることができた結果得られた17年半ぶりの満額回答である。

また、「離職の増加」に対し、地域を跨ぐ異動の忌避感を和らげることとを目的とした調整手当の一律化に会社が遂に着手し、今回「調整手当無級地への1万円支給」が

示されたほか、多くの成果を確認した。これらの回答は、会社が組合員の想いを受け止め、懸命に検討した結果出された内容であり、組合員の頑張りや会社として最大限受け止めたことと判断し、妥結を決定した。

今回、物価上昇に苦しみ実態に完全なる負担解消の水準までベースアップを積み上げることができなかったことに対し、言葉にならない切実な想いを抱いている組合員も多いと認識している。しかし、結成30周年を迎えた今こそ、今後の更なる処遇改善に向け、これまでに以上JR東海ユニオン組合員が「ONEチーム」となり確実に社業と各種施策を推進し、30年間積み重ねてきた健全で強固な労使関係を、「将来宣言」に基づき更に強固なものとし、未来へ向かって歩みを進めていこう。

関西地方本部激励訪問

〈回答〉

1 令和5年度新賃金

- (1) 定期昇給の標準乗数は4とする。
- (2) 35歳ポイントの基本給を1,000円引き上げる。
- (3) 調整手当が支給されない地区に勤務する社員に、月額10,000円の調整手当を支給する。
- (4) 特手当を新設し、中央新幹線長野工事事務所大座駐在に勤務する社員に月額40,000円を支給する。

2 令和5年度夏季手当

- (1) 支給月数は、2.7箇月分とする。
- (2) 支給日は、6月30日以降準備でき次第とする。

〈2023春闘で得られた主な成果および確認出来た事項〉

- ・中央新幹線一部工事事務所へのJネット（タブレット）端末配備
- ・駅係員用タブレット端末の後継として一部駅に駅担務別デバイスを配備
- ・育児等制限者の更なる職域拡大実施
- ・ジョブシェアスキームの試行対象の拡大実施
- ・「MY LIFE OUR LIFE」の電子書籍化実施
- ・女性用設備の更なる整備実施
- ・御殿場線沿線の各駅のインフルエンザ予防接種箇所の変更実施
- ・全社員を対象としたエンゲージメント調査の実施
- ・外米の人工透析終了に伴い血液浄化センター手当の支給額見直し
- ・機械技術センターの職務手当を新たに設定
- ・次世代育成法に基づく次期行動計画において、男性の育児休業及び育児目的の休暇の取得率を「100%」とすることを確認
- ・令和5年度以降のプロフェッショナル大卒（連勤）社員の運用変更確認
- ・産科医療補償制度の加算対象となる出産育児一時金の支給額増額
- ・福祉社会レジャー施設補助の一部変更確認